芙蓉会社内報　平成30年12月号

やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院
千葉芙蓉病院
きゃらの樹ケアセンター

理事長挨拶

医療法人社団　芙蓉会　理事長　四ケ所　大

世相を表す恒例の今年の漢字ですが、「災」に決まりました。2018 年は日本全国で起きた地震や台風等の自然災害の脅威を感じた一年でした。実は 2004 年も「災」が選出されていたようで、その年は新潟中越地震の発生やイラク戦争から「来年は福に転じて欲しい」という思いもあったようです。

このように全国各地で度重なる地震、台風等の発生が続いている現状と、地域に根差した運営の一環として、今年の９月に君津市避難所協定を締結致しました。法人内においても、防災会議、防災訓練を繰り返し実施しておりますが、災害に対する関心を持ち続けていくという事が一番重要だと考えております。これを期に、更に地元住民の方々に安心していただける、災害対策の一助を担っていきたいと思います。

12 月は、挨拶回りや忘年会で多くの方々にお会いしました。お互いの近況を話す場面もありましたが、国会の「外国人労働者」の法案審議も重なり、雇用関連について話す機会も多くありました。皆様ご存じのとおり、外国人労働者の助けを借りなければ、日本経済全体が成立しない訳ではありますが、外国人の雇用に伴って改めて認識しなければならない事項もあると思います。それは、安価な労働力と認識するのではなく日本人と同じ労働条件や待遇を用意すること。そして日本文化を学ぶ機会を提供し相互理解を深める事等。受け入れる側、働く側双方にとって、より良い方向に進むことを願いたいです。

2018 年の法人を振り返りますと、４月に施行された診療報酬及び介護保険のダブル改定後の対応に追われる時期があったものの、スタッフの協力体制により大きな問題なく乗り越える事ができました。東京都町田市のふよう病院においては、介護療養病床の転換という大きな課題が残っておりますが、一つひとつ段階を踏んで、最終的な決断をしたいと考えております。来年は「災」が少なく、明るい話題が増える年になる事を祈っております。

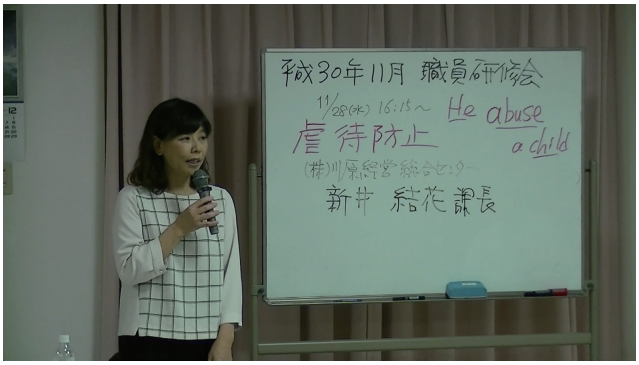
「老人は国の宝」

医療法人社団　芙蓉会（事業所一覧）

- ふよう病院
- 芙蓉ミオ・ファミリア町田
- グループホームあおぞら
- デイサービスふれあいルーム
- 千葉芙蓉病院
- きゃらの樹ケアセンター
- 千葉芙蓉ハーモニー
- 千葉芙蓉ステーション

院内職員研修会報告「虐待防止」
30 年 11 月開催　発表者　㈱川原経営総合センター 経営コンサルティング部門課長 新井様

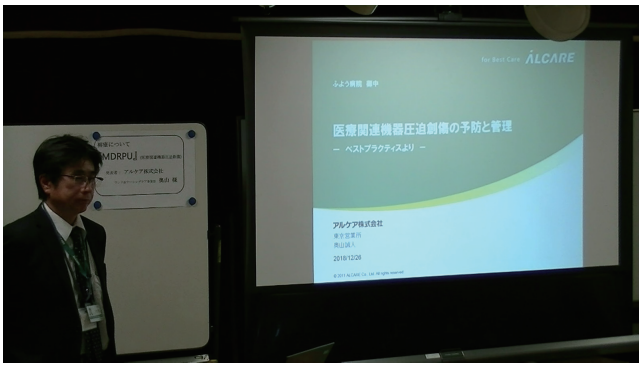
テーマ
介護施設における高齢者虐待の現状と、法人として取り組むべき姿勢について
内容
　介護施設での高齢者虐待は、過去最多を連続で更新しているとのこと。増加している要因とし「高齢者虐待の社会的関心が高まり、通報の必要性の認識が高まってきている」と、厚生労働省は分析しており、原因としては職員の
　①教育・知識・介護技術等に関する問題
　②ストレスや感情コントロールの問題
　③人員配置や人手不足
が挙げられます。
　日々向き合うご利用者の「命を預かる、生活を支える」とういう自分達の仕事に責任を持つためには、認知症に関する知識習得等、プロとしての専門性を高めることや、自分自身の感情



コントロールを行うために「自分自身を知る事」と、ご利用者・ご家族・職員間のコミュニケーションを充実させチームでケアするという意識を高める事が大切です。
　虐待は、こういった取り組みの結果として防止されていきます。

院内職員研修会報告「褥瘡について」
30 年 12 月開催　発表者　アルケア株式会社　奥山様

テーマ
医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）の予防と管理
内容
　日本褥瘡学会では、医療機器による創傷について、「原因は体重であれ機器であれ、人の体に圧迫などが加わったときに発生する創傷は“褥瘡”として位置付ける」とし、抑制帯などの医療機器以外の看護支援用具も含めて「医療関連機器圧迫創傷（Medical Device Related Pressure Ulcer)」と名称を統一しています。
　医療関連機器によってできる褥瘡の比率は、医療用弾性ストッキングの普及等、使用される医療用具が増えたことにより増加傾向ですが、伴って予防方法や予防用具も普及してきています。アルケア株式会社は、ストマ用品をはじめ、



創面保護材、スキンケア剤を発売している会社で、今回は関連商品を実際に見ながら、褥瘡の予防方法と商品の使用例について解説していただきました。

院内職員研修会報告「ハラスメント対策」
30 年 12 月開催　発表者　社会保険労務士　内藤様

内容

ハラスメントの問題は多種多様にわたり、昨今マスコミ等でも取り上げられています。今回は、パワーハラスメントについてお話しいただきました。

パワーハラスメントの典型的な行為
①人格を否定するような表現を用いた叱責、罵倒、恫喝など
②大勢の面前での激しい叱責・罵倒
③近親者に対する悪口、中傷・揶揄
④事実に基づかない誹謗中傷、風評の流布
⑤人間関係からの切り離し（無視､座席の隔離、自宅待機、村八分など）

など、多岐にわたります。ハラスメントが公になれば、加害者に対する法的責任が生じ、会社にも損害賠償を求められる可能性もあります。ではなぜ、パワーハラスメントが起きるのでしょうか。

①気持ちや体力の余裕がなくなっている
②ストレスの発散になってしまっている

特に医療・介護業界は、この要素が多いと言われています。

①ちょっとしたミスも許されない（患者の命にかかわる）
②専門集団のため、プライドが高い
③職種における階級制度
④多忙（残業が多い、休みがとりづらいなど）

パワハラの予防策として、他の人が同じことをした時、許せるかどうかを判断基準とする、自分が言われて嫌な言葉を書きだしてみる（言葉使いを丁寧に)、地位が上がるほど、腰は低くするなど、アドバイスをいただきました。健全な職場であることが、よりよい患者サービスにつながると考え、取り組んでいきます。

ふよう病院　イベント報告

柚子湯

今年は冬の訪れがゆっくりでしたが、いよいよ寒さが増してまいりました。22 日の冬至を前に、柚子湯を催しました。機械浴の浴槽に柚子をたくさん浮かべて、ほんのりいい香り。ちょっとの間ですが、季節を楽しんでいただきました。

秋の見学会を実施

11 月 17 日、年２回実施の君津事業所契約者の施設見学会を実施しました。

４組６名の在宅の方々をお招きして、老健、病院、特養の３施設の見学、食事を無料で提供させていただきましたが、介護保険施設３種類が敷地内にすべてあるのは千葉芙蓉会ならではで、他には滅多にありません。ご契約の皆様はもちろん、これから介護保険の利用を検討されていらっしゃる方々は是非、お気軽にお問合せください。

千葉芙蓉ハーモニー　電話 0439-29-6501

きゃらの樹ケアセンター　イベント報告

中学生ボランティア訪問

12 月 14 日、近隣の松丘中学校の生徒会によるボランティア訪問がありました。このために準備・練習をしてきたレクリエーションや歌を披露していただき、入所のみなさんも自然と笑みがこぼれていました。こうして育った子供たちから、将来の芙蓉会を担ってくれる人材が出ることを期待して、これからも良い関係を保ちたいと思います。

医療法人社団芙蓉会　きゃらの樹ケアセンター

見学随時受付中

〒292-0503　　千葉県君津市広岡 375－３

TEL　0439-50-7333　　FAX　0439-50-7399